

一般社団法人

SCCC・リアルタイム経営推進協議会（略称SCCC協議会）

**令和5年度
SCCC協議会 会員総会**

令和6年7月17日（水）
於：名城大学 T1002 リアル &ZOOM

一般社団法人SCCC・リアルタイム経営推進協議会（略称SCCC協議会）
令和5年度総会次第

令和6年7月17日（水）リアル & W e b 会議形式
14:00～14:30 会議モデレータ

事務局次長 鈴木雅文

・定数確認

1. 代表開会挨拶

会長 小島洋一郎

2. 議長選出 兼子代表理事により指名

3. 議事 (議長)

河田 信

第一号議案 令和5年度活動報告及び会計報告

副理事長 河田 信

第二号議案 令和5年度監査報告

監事 伊原栄一

第三号議案 令和6年度活動計画案及び予算計画

副理事長 河田 信
事務局次長 鈴木雅文

4. 閉会挨拶

代表理事 兼子邦彦

SCCC・リアルタイム経営推進協議会 令和5年7/17 現在 (案)
(設立令和元年7月1日 法人番号1800-05-018348)

役員

小島洋一郎 (会長)
兼子邦彦 (理事長、国連CEFACT/SIPS)
河田 信 (副理事長、「わくわくJIT研」主査)
岸田賢次 (名古屋学院大学名誉教授、岸田税理士事務所長)
黒岩恵 (ESD21 代表)
鈴木雅文 (リーランド研究所長)
伊原栄一 (監事、「つなぐITコンソーシアム」代表幹事)

相談役 (兼 BP：ビジネスパートナー / 販売/コンサル・開発担当)

野村政弘 (「わくわくJIT研」副主査、元デンソー)
荒木雅広 (「わくわくJIT研」、古川電機製作所)
伊藤直子 (「藤工業所」総務、古川電機BP)
坪井治泰 (アルゴメデス (株) 代表取締役)
寺浦信之 (テララコード研究所)
中村 敏 (「わくわくJIT研」、元NEC)
柳生泰史 (NEC 匠コンサルティンググループ)
中尾治康 (「わくわくJIT研」、公認会計士)
小野内宣行 (税理士、名城会計人会代表)
犬丸晋 (日本技術士会)
原浩之 (日本技術士会)
大鹿秀正 (ESD21理事)
松井聡志 ((株) オカムラ 元NEC)

事務局

鈴木雅之 (名城大学：NPO法人 ミライアンス)

第一号議案

令和5年度活動報告及び会計報告

令和5年度活動報告

産官学連携 経営本社力養成スクール 令和5年度第1回例会

日時、場所 2024.1.24（リアルとWebの併行）

名城大学天白キャンパスT1002教室

主催：（一社）リアルタイム経営推進協議会

協賛：名城大学会計人会 / 名城大学法人ミライアンス

（一社）持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）

プログラム主題：「インボイス制度開始後の小規模事業者の混乱対応策

① 政府筋動向（SCCC協 理事長 兼子邦彦）

デジタル化、QRコード化インボイス・消費税、中小企業の直近の動向

② 受発注業務オフィスの事務手間ピンチをチャンスに SCCC協理事 岸田賢次

「岸田アプリ」の顧客用ポイントと小規模事業者のインボイス対応要領の変化

③ 小規模事業向き「野村アプリ」の概要 SCCC協相談役（元デンソー）野村政弘

～DX化につなぐ「オール手書きレベル」の検収現場納品QRコード化～

QRコード化
戦闘開始!!

令和5年度活動報告 (1)

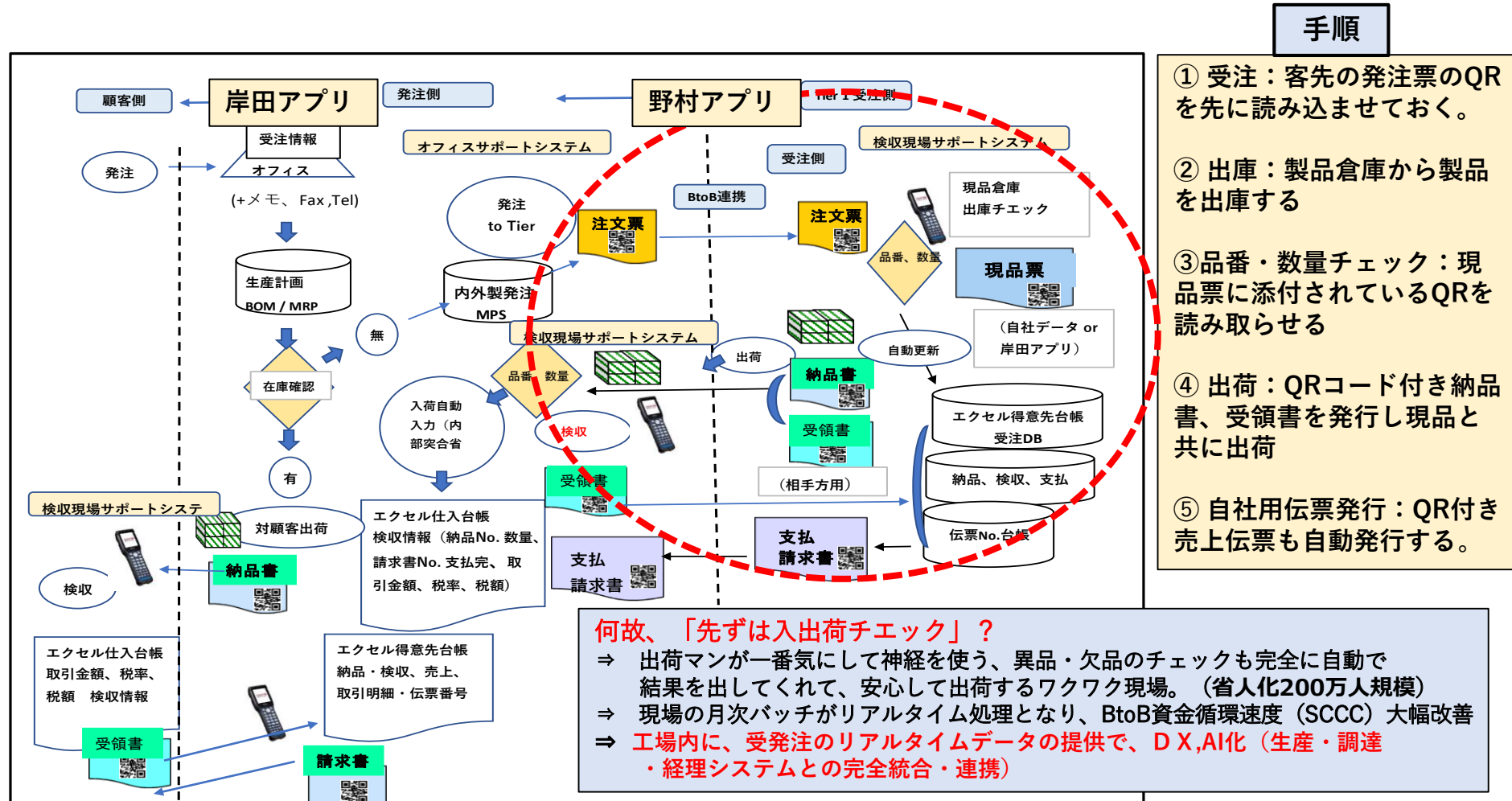
2023年7月4日 SCCC協議会BP 海津市 (有) 藤工業見学



古川電機様の「QRコード付伝票」の運用により、**手入力から自動入力となり、受注業務が大幅な作業削減**となり、他の客先へは、納品書を昨年11月締めより、**岸田アプリ**を用いて送付しております。

納品台帳への登録は、今まで使用の販売管理ソフトを活用しながら、コピペでデータを入力しています。従って、納品時には岸田アプリ、請求時には現状の販売管理ソフトというような使い方です。学んでみると、こんな小さな町工場でも DX化へのハードルはそんなに高くないなと思えました。」 有限会社 藤工業所 伊藤 直子

令和5年度 SCCC協議会会員総会兼分科会 令和5年6月21日 於:名城大学 中部地区モデル（インボイス対応+QRコード化）⇒ 流れ創りDX・AI化へ



<産官学連携JIT経営本社力養成スクール 令和5年度 第2回例会> 2023.9.7 名城大学 天白キャンパス

① 動画報告: 7/4 現場見学会報告 中小製造業のQR化改善開始

オール手書き伝票の受発注QR化ワクワク改善と今後の展開

古川電機製作所総務グループ長荒木雅広(有)藤工業所 SCCC協BP 伊藤直子

② 藤工業所改善手順(「地域ぐるみのQR化作戦」の提案含む)元デンソー(QR開発者)野村政弘

③ 10/1 に向けて: インボイス制度対応講習会実施報告 原国際技術士事務所長 BP 原浩之

④ 解説: 10/1開始インボイス制度をめぐるピンチとチャンス

SCCC・リアルタイム経営推進協議会理事長 兼子邦彦 名古屋学院大学名誉教授 税理士岸田賢次

「カネは溢れているのに流れない」未曾有の国難突破！

<産官学連携JIT経営本社力養成スクール 令和5年度第3回例会> 2024.1.24 名城大学天白キャンパス

主題: 「インボイス制度開始後の小規模事業者の混乱対応策」

① 政府筋動向 : デジタル化、QRコード化、インボイス・消費税

中小企業の直近の動向 (SCCC協 理事長 兼子邦彦)

② 受発注業務オフィスの事務手間ピンチをチャンスに

「岸田アプリ」の顧客用ポイントと小規模事業者のインボイス対応要領

(SCCC協理事 名古屋学院大学名誉教授 岸田賢次)

③ 小規模事業者向き「野村アプリ」の概要

まずはDX化につなぐ「オール手書きレベル注文伝票」のQR化の進め方

(SCCC協相談役(元デンソー)野村政弘)



詳細: <http://honsharyoku.html.xdomain.jp/index.html>

国難突破開始！

I SCCCリアルタイム経営推進協議会から「デジタル庁」へ提案

2024年2月6日「テクノロジーマップ」に「QRコード」が追加された

II 2024年4月18日 日本商工会議所「政策提言」にQRコード」活用が掲載された

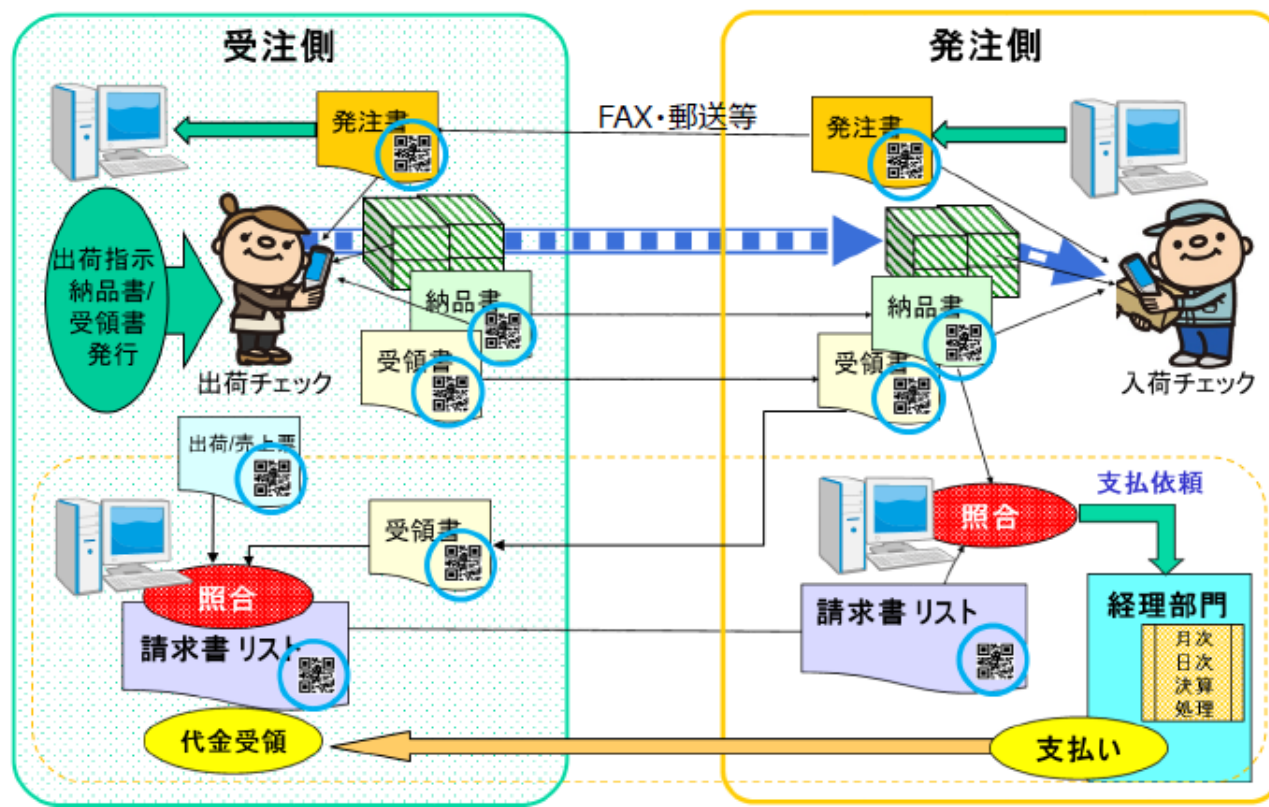
ポイント① 中小企業のデジタル化推進

② QRコード活用の標準化

③ デジタル化恩恵を双方享受の仕組み(面的普及)

④ 地域でまとまる仕組み。

<イメージ>



QR伝票

「出典」一般社団法人SCCC・リアルタイム経営推進協議会資料

令和5年度会計報告

貸借対照表

一般社団法人 SCCC・リアルタイム経営推進協議会

令和6年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 276,399 】	【流動負債】	【 696,057 】
現金及び預金	276,399	短期借入金	624,036
		預り金	1,021
		未払法人税等	71,000
		負債合計	696,057
		純 資 産 の 部	
		【株主資本】	【 ▲ 419,658 】
		資本金	0
		(利益剰余金)	(▲ 419,658)
		その他利益剰余金	▲ 419,658
		繰越利益剰余金	▲ 419,658
		純資産合計	▲ 419,658
資 産 合 計	276,399	負 債 ・ 純 資 産 合 計	276,399

正味財産増減計算書

令和6年3月31日

一般社団法人 SCCCリアルタイム経営推進協議会

令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで

	令和5年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A) － (B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	0	0	0
セミナー収入	0	0	0
講演料収入	83,829	20,000	63,829
QRコード化アプリ収入	0	27,500	▲ 27,500
経常収益合計	83,829	47,500	36,329
(2) 経常費用			0
事業費	0	0	0
理事報酬	0	0	0
管理費	69,198	33,784	35,414
通信費	688	454	234
減価償却費	0	0	0
支払手数料	67,850	33,000	34,850
その他諸費用	660	330	330
経常費用合計	69,198	33,784	35,414
当期経常増減額	14,631	13,716	915
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	2	4	▲ 2
(2) 経常外費用	0	0	0
(3) 債務免除益	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	14,633	13,720	913
法人税、住民税および事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	▲ 56,367	▲ 57,280	913
一般正味財産期首残高	▲ 363,291	▲ 306,011	▲ 57,280
一般正味財産期末残高	▲ 419,658	▲ 363,291	▲ 56,367
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
III 正味財産期末残高	▲ 419,658	▲ 363,291	▲ 56,367

監査報告書

「一般社団法人SCCC・リアルタイム経営推進協議会」定款第23条に則って、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度について、下記の要領により会計監査を実施した結果、決算書、会計帳簿、証拠書類等は、いずれも一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適法かつ正確に処理されており、当法人の財産の状態を正しく示しているものと認めます。

記

1. 日時 令和6年5月20日（火）
午後13時00分から午後14時00分
2. 方法 帳簿実査・照合
3. 出席者
兼子邦彦 代表理事、河田 信 副理事長、伊原栄一 監事、梅地真貴子（事務局）
以上

令和5年5月26日
一般社団法人「SCCCリアルタイム経営推進協議会（SCCC協議会）」

監事 伊原栄一 ㊞

第二号議案

令和4年度監査報告

監事 伊原栄一

監査報告書

「一般社団法人SCCC・リアルタイム経営推進協議会」定款第23条に則って、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度について、下記の要領により会計監査を実施した結果、決算書、会計帳簿、証拠書類等は、いずれも一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適法かつ正確に処理されており、当法人の財産の状態を正しく示しているものと認めます。

記

1. 日時 令和6年5月11日（木）
午後4時00分から午後5時00分
2. 方法 帳簿実査・照合
3. 出席者
兼子邦彦 代表理事、河田 信 副理事長、伊原栄一 監事、梅地真貴子（事務局）
以上

令和5年5月26日
一般社団法人「SCCCリアルタイム経営推進協議会（SCCC協議会）」

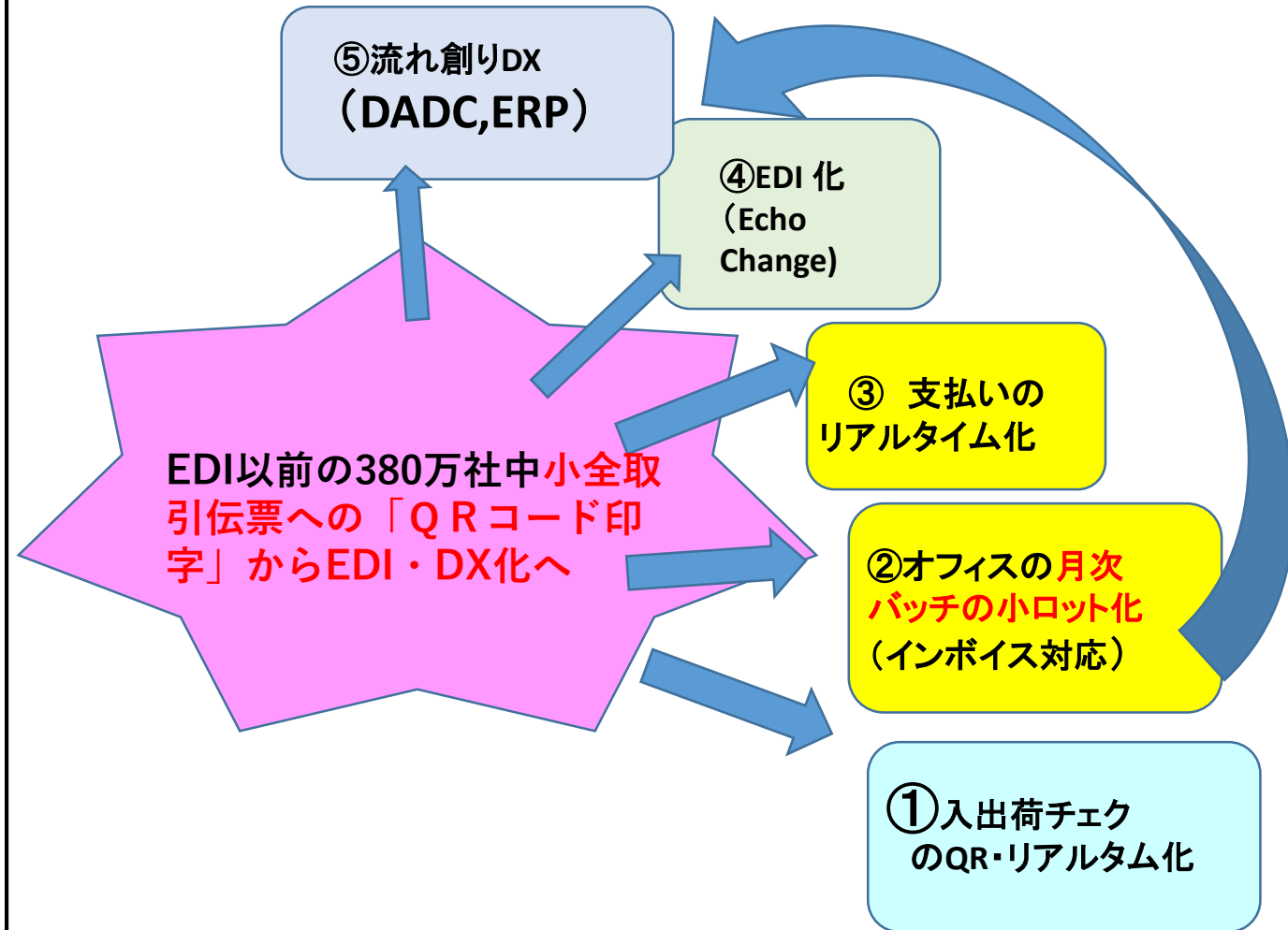
監事 伊原栄一 ㊞

第三号議案

令和6年度活動計画案及び予算計画

SCCC協議会 当面の課題

- ① 中小企業**流れ創りの実践成功例、先ずは数社**
 - ・ 「カネは溢れているのに流れない」 多重下請構造 BtoBの「カネの流れ10倍速」
 - ・ 待ち時間短縮による生産性の奇跡「初年度LT30%短縮」と**月次バッチオフィス**業務の小ロット化
 - ・ 特許の有効活用 : 「LTB配賦法」と「リアルタイム貸借対照表システム」
 - ・ ITベンダー（ESD21）と中小個社への特許権無償供与でシステム構築加速
- ② **本社力教育の展開：「P/S脳からB/S脳化へ転換」**
「産官学連携JIT経営本社力養成スクール」
協賛 ESD21、名城大学ほか**文理融合実学志向**企業（経営者、本社、現場、IT）教える側（教員、コンサル。職業会計人、研究者）、教わる側（院生、学生） 各分野の「本社力指導資格者」増加



L T B 特許（BPとして無償実施権共有）第6357388号 登録日2018.6.22

【発明の名称】 リードタイム基準製造間接費配賦システム及びプログラム(LTB)

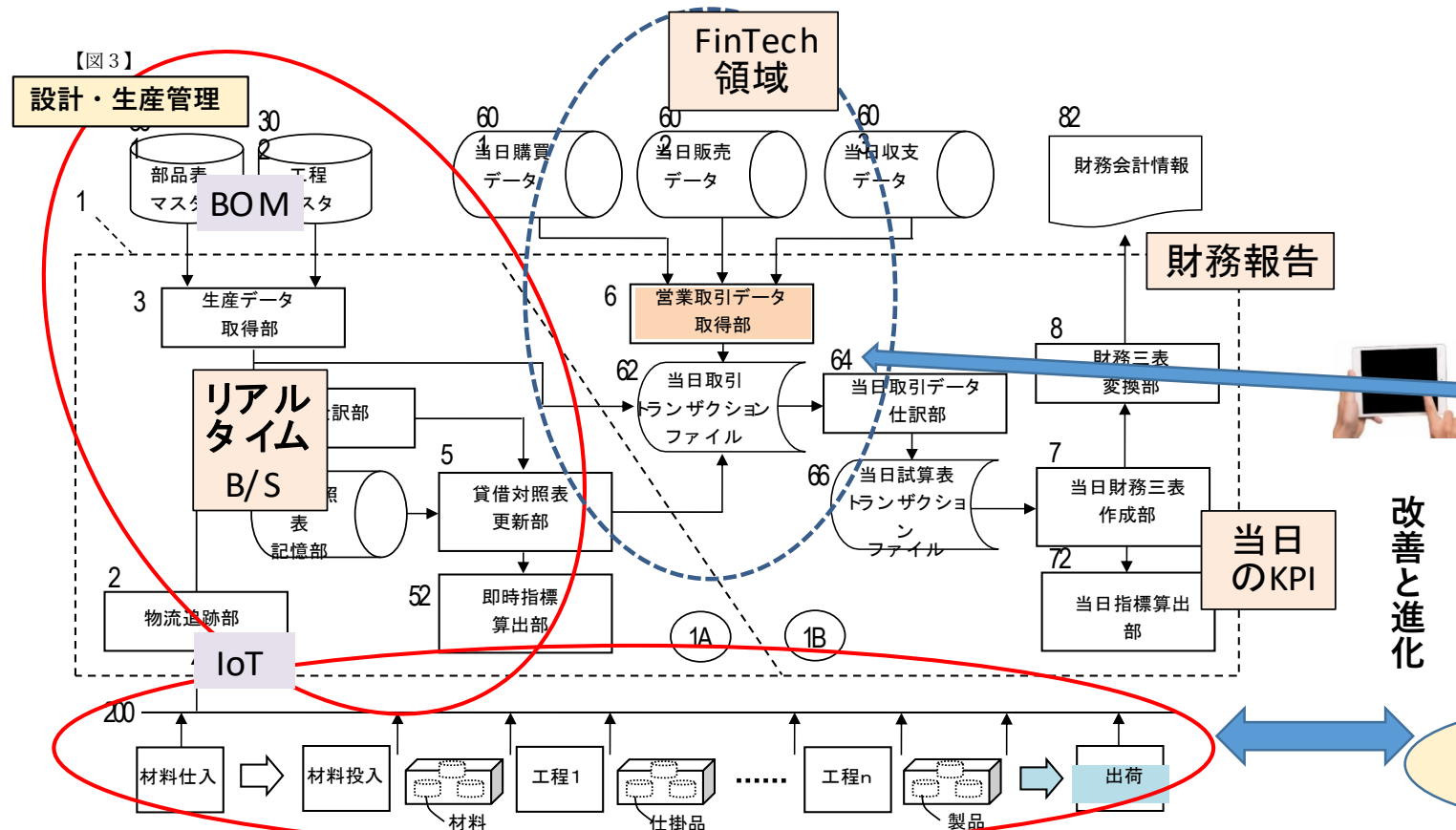
【発明者】 : SCCC・リアルタイム経営推進協議会（代表 兼子邦彦）

- ・日本で1963年制定の原価計算基準で認められた「全部原価計算方式では、製造間接費の一部（減価償却費、電力料、旅費交通費、火災保険料などの当期製造間接費を、製品に配賦し、在庫に含ませて次期以降に製品原価を繰延べる期間損益計算のため、ものづくりにおいて、在庫増を容認しがちであった。
- ・これに対し、1970年代に登場の「必要なものを、必要な数だけ、よどみなく流す」JIT生産では、生産現場では、モノの停滞時間と直接加工時間と同等の価値を持ってきたが、会計システム上は、停滞時間を含むリードタイムの測定技術が存在しなかったこともあり、生産と会計が非統合のまま、21世紀を迎えたが、I O T技術の進化によって、生産と会計の論理的統合が可能となってきた。

⇒ BP 特許活用法の検討

次への準備 DX構築 :「流れ創りDX・AI」を目指して

「流れ創りDX」:「IoT+貸借対照表」の即時更新
～「速度志向生産性」へのトランスフォーメーション原理の組み込み～



詳細設計に向けて
BP (ビジネス
パートナー) 歓迎



共通EDI (Echo
change
+ ZEDI)

三段

適格請求書対応 受発注
(特許申請中)

二段

工場全体の流れ創り
DX・AI化

一段

三段階突合

岸田アプリ

野村モデル
(入・出荷現場)



国内特許取得 — 2021.3.30 (特開2018-106283)

- ・ 発明名称: 「リアルタイム貸借対照表システムおよび資金循環速度評価プログラム」
- ・ 出願者: SCCC・リアルタイム経営推進協議会 発明者: 小島洋一郎 ほか3名
- ・ 展開方法 特許使用料不要でSCCC協議会BP (ビジネスパートナー) として
ITベンダーと伴走型コンサルによる社会貢献事業 (win-win 成功報酬)

前内閣府：骨太方針
2023.6.7

○ デフレ脱出のカギ：「**資金循環速度**」の加速化
政府ルールは既に在り!! 実行あるのみ!

新骨太方針とも整合する「過去発信済
み」の「**流れ創り関連方針**」再興

「支払いはより早く」
の三方良し経営

「繊維業90日以内、その他の
業種は、120日以内は当
然のこととして段階的にこれ
を短縮し、**将来的には60日
以内とする**ように努める」

(中小企業庁振興基準「未来
志向型の取引慣行に向けて」
(2016/9/15))

2016年 中小企業庁指針

2023年までに、日本のサ
プライチェーン単位での資
金循環効率(サプ
ライチェーンキャッシュコ
ンバージョンサイクル
(SCCC))を**5%改善**するこ
とを目指す。

経済財政運営と改革の基本
方針(2021年6月18日)

2020年内閣府 骨太方針

◎手形サイトが90日と120日に張り付
いている現状に対し、2024年4月を目
標に、**手形サイトを60日に改善する。**
**また、割引料は、元請け企業よる負
担を進める。**これにより、**割引料や
ファクタリングの軽減をはかる。**
◎ 2026年までに、約束手形の廃止
を実現する。(2021年2月)

2021年経産省 約束手形廃止方針

2016年 トヨタ自動車 (+デン
ソー、アイシン、豊田自動織機)
は 中小企業庁指針に沿って、**支
払手形を廃止済み**

業種別 S C C C (2014-2016平均) より

	総括表 (2014-2016平均)			
	①	②	③	①+②+③
(2014-2016平均)	受取債権	仕入債務	棚卸資産	SCCC 日数
自動車				
トヨタ	28.0	40.2	34.6	102.9
日産	25.5	57.9	47.7	131.2
本田	54.6	43.3	52.4	150.3
マツダ	23.3	55.8	55.1	134.1
重電				
日立	100.9	68.8	69.7	239.3
東芝	83.1	86.5	66.8	236.3
三菱電機	87.7	92.2	77.9	257.7
ゼネコン				
鹿島	120.5	96.4	110.6	317.9
大成建設	100.6	96.2	140	337.9
清水建設	113.3	98.2	105.9	317.7
重工業				
三菱重工業	113.8	98.3	147.2	359.2
川崎重工業	103.2	95.6	152.0	350.8
住友重機械	105.5	93.1	105.9	304.5

BtoB 中部地区モデル
受発注伝票QRコード化
+ 三段階突合

BtoG 公共工事の
『盆暮れ払い』
⇒60日以内払い
⇒ デジタル化の
大前提

「大企業にカネは溢れ
ているのに流れない」
多重下請け構造
⇒ 「三方よし」経営

「速度生産性」に目覚め、年1回転の資金が2回転するようになれば、マネーストックは倍、デフレ克服

(出所：日経BPより筆者編集)

SCCC

中小企業生産性とマクロ経済政策の共通項 ：“量”から“流れ”への価値観転換

カネの流れ10倍速
2段階作戦

サプライヤーを含む
リードタイム生産性革命



「ダムにカネは溢れているが流れない」
カネの流れ速度生産性革命

メッタに流れない
「盆暮れ払い」



商流・金流
月末払いと月ズレ

IoT
FinTech

翌日払いから
瞬間払いへ



政府・自治体公共工事

デフレで消費・投資進まず

第1段階：中小企業振興基準
全産業 60日以内支払

第2段階：検収後60日水準（自動車産業の場合）**週⇒瞬間払い**へと、IoT・Fintech、DXとの合わせ技で。
「スーッと流れる1個流し」と翌日払い（小島プレス）

積極財政＋マネースtock増で デ
フレ脱出



令和6年度予算計画

令和6年度 予算(案)

令和6年度予算案			備考
1.事業活動収益			
1	講演・コンサル収入	150,000	個社コンサル 国内・海外講演 (中部地区、マレーシア、中国等)
2	会費収入	50,000	
3	QR伝票アプリ、成功報酬	500,000	
4	雑収益（教材、販売、印税収入）	100,000	
	事業活動収益計	800,000	
2.事業活動費用			
	その他諸経費	200,000	伴走指導費ほか
管理費支出	税理士報酬	43,000	
	事業活動費用計	243,000	
当期計上増減額		657,000	
法人税・住民税・事業税		▲199,000	(一社) 収益事業税率 0.2239% + 均等割り 71,000
前期繰越金額		▲419,658	
差引き次期繰越金額		38,342	

一般社団法人

SCCC・リアルタイム経営推進協議会（略称SCCC協議会）

SCCC協議会 会員総会

閉 会

ありがとうございました。